

地域社会の防犯拠点として「子供の駆け込み」の出張授業を台東区立育英小学校で警視庁蔵前警察署と開催！

セブン-イレブン・ジャパン(以下:セブン-イレブン)は、地域のセーフティステーション活動を周知することを目的として、台東区立育英小学校で、警視庁蔵前警察署と連携し出張授業を開催しました。授業では、子どもが不審者に声をかけられ、店舗に駆け込み、助けを求めるデモンストレーションを行いました。今後もセブン-イレブンは、学校や行政、地域社会と連携を深め、キャリア教育への支援をはじめ、SDGsの取組を推進して参ります。

セーフティステーション活動説明



模擬店舗への駆け込み



クイズ



加盟店オーナー様



参加者の感想

■加盟店オーナー様

- ・売上だけではなく、地域一員としての役割は大きいと感じた
- ・地域の皆さんから頼られるお店作りをしていきたい

■台東育英小学校 先生

- ・制服を着た皆さんが、お話をしていただき、子どもたちにも伝わりやすかったと感じる
- ・子どもたちも楽しかった！セブン-イレブンが学校に来た！と楽しみながら学べました
- ・近隣のオーナー様が直接「困ったときは頼ってね」の言葉は大変安心感を得ました

■実施日:2023年10月13日(金)

■会場:台東区立育英小学校

■参加者:小学1~2年生約160名、小学校関係者、
警視庁蔵前警察署、加盟店オーナー様、弊社社員

関連情報

台東区立育英小学校ホームページ : <https://www.taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310222>

